

# DIAM中国関連株オープン 〈愛称：チャイニーズ・エンジェル〉

追加型投信／海外／株式



## DIAMアセットマネジメント

本書は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書です。

〈委託会社〉[ファンドの運用の指図を行う者]

DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者登録番号/関東財務局長(金商)第324号

〈受託会社〉[ファンドの財産の保管および管理を行う者]

みずほ信託銀行株式会社

ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は下記委託会社への照会先までお問い合わせください。投資信託説明書(請求目論見書)は、委託会社のホームページで閲覧できる他、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。

また、本書には約款の主な内容が含まれておりますが、約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に添付されております。

委託会社への照会先

【コールセンター】 0120-506-860 (受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

【ホームページ】 <http://www.diam.co.jp/>

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	海外	株式	その他資産 (投資信託証券(株式))	年1回	アジア	ファミリー ファンド	なし

※上記の分類は、社団法人投資信託協会の商品分類に関する指針に基づき記載しております。

商品分類および属性区分の定義については、投資信託協会ホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)にてご確認ください。

<委託会社の情報>	
委託会社名	DIAMアセットマネジメント株式会社
設立年月日	1985年7月1日
資本金	20億円
運用する投資信託財産の 合計純資産総額	3兆9,837億円
	(2011年11月30日現在)

- 「DIAM中国関連株オープン<愛称：チャイニーズ・エンジェル>」の募集については、委託会社は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第5条の規定により、有価証券届出書を2012年1月31日に関東財務局長に提出しており、2012年2月1日にその効力が発生しております。
- 当ファンドは、商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）に基づき事前に受益者の意向を確認いたします。
- 当ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法に基づき受託会社の固有財産等との分別管理等がされています。
- 販売会社に請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
- ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、前記の委託会社への照会先までお問い合わせください。
- ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

# 1. ファンドの目的・特色

## ファンドの目的

信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

## ファンドの特色

当ファンドは、主として「中国株」に投資をしつつ、「中国関連株」をグローバルな視点で加えることで、**中国の成長性**を享受することをめざします。

■当ファンドは主にDIAM中国関連株オープン・マザーファンドに投資を行い、実質的に中国株および中国関連株に投資を行います。

※ただし、A株への投資については、上記マザーファンド以外の投資信託証券への投資を通じて行う場合があります。同マザーファンド以外の投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

■企業調査をもとに銘柄を発掘し、長期投資を行います。

■実質株式組入比率は、原則として高位を維持します。

■実質組入外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。

### 中国株

- 香港証券取引所(H株、レッドチップ等)
- 上海証券取引所(上海A株・B株)
- 深セン証券取引所(深センA株・B株)
- シンガポール証券取引所(S株)
- ニューヨーク証券取引所(N株)等に上場する中国資本企業

### 中国関連株

- 香港・台湾の大中華圏、東南アジア・韓国を加えたアジア諸国、米国、欧州等の非中国資本企業で以下の要件を満たす企業(ただし、日本を除く。)

★売上もしくは資産の相当部分(50%以上)が中国による(存在する)企業群

★上記に満たないが、今後の成長の源泉が中国から発生すると思われる企業群

- 「H株」とは、香港証券取引所に上場している中国本土企業のうち、中国本土で登記を行っている企業の株式のことで、香港ドルで取引されています。一方、シンガポール証券取引所に上場しているものを「S株」、ニューヨーク証券取引所に上場しているものを「N株」といいます。
- 「レッドチップ」とは、香港証券取引所に上場している中国本土企業のうち、香港で登記を行っている企業の株式のことで、香港ドルで取引されています。
- 「A株」「B株」とは、中国の証券取引所(上海・深セン証券取引所)に上場し、中国本土で登記を行っている中国本土企業の株式のことで、「B株」は、上海証券取引所では米ドルで、深セン証券取引所では香港ドルで取引されています。「A株」は、中国国内投資家と「適格国外機関投資家」の認定を受けた外国人投資家のみが取引可能で、中国人民幣で取引されています。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

# 1. ファンドの目的・特色

## 運用プロセス

ボトムアップ・アプローチを基本としつつ、トップダウン・アプローチを組み合わせ効率的な運用を行います。

中国独自の要因に考慮した トップダウン・アプローチ

ポートフォリオ構築

徹底した企業調査による ボトムアップ・アプローチ

投資の  
ポイント

中国経済の成長の原動力を

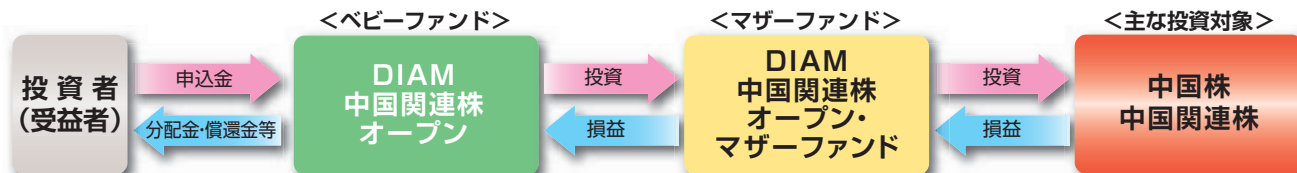
・「巨大な消費市場」

・「世界の工場」

として捉え、それぞれのテーマにおいてメリットを享受する銘柄に絞り込んで投資を行います。

## ファンドの仕組み

当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用を行います。「ファミリーファンド方式」とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、投資者からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、その実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



※当ファンドはDIAM中国A株マザーファンドを通じて、実質的に中国元建ての株式(中国A株)に投資を行う場合があります。

※DIAM中国関連株オープン・マザーファンドおよびDIAM中国A株マザーファンドの運用にあたっては、DIAM Asset Management (HK) Limitedの投資助言を活用します。

## 主な投資制限等

- ① DIAM中国関連株オープン・マザーファンドへの投資には制限を設けません。
  - ② 株式への実質投資割合は制限を設けません。
  - ③ 新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において原則として信託財産の純資産総額の20%以下とします。
  - ④ DIAM中国関連株オープン・マザーファンド以外の投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
  - ⑤ 同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において原則として信託財産の純資産総額の20%以下とします。
  - ⑥ 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の5%以下とします。
  - ⑦ 同一銘柄の転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債への実質投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以下とします。
  - ⑧ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
- DIAM中国A株マザーファンドへの投資割合は、当ファンドが直接または実質的に投資を行うその他の投資信託証券も含めて信託財産の純資産総額の5%以下とします。

## 分配方針

年1回の決算時(毎年10月30日(休業日の場合は翌営業日))に、経費控除後の利子、配当収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## マザーファンドの概要

DIAM中国関連株オープン・マザーファンド

主要投資対象

中国企業群の株式および中国関連株式

投資態度

- ① 株式への投資にあたっては、香港株式市場、中国B株市場、ニューヨーク市場およびシンガポール市場等に上場する中国籍企業の株式、香港のレッドチップ銘柄等の「中国企業群の株式」に加え、香港、台湾の大中華圏、東南アジア、韓国等のアジア諸国および米国、欧州等の上場企業の中の「中国関連株式」にも投資を行うことを基本とします。
- ② 運用にあたっては、DIAM Asset Management (HK) Limitedの投資助言を活用します。
- ③ 株式への投資割合は、原則高位を維持します。ただし、市況動向等により組入比率を引き下げる場合があります。その際、短期金融商品運用の一環として債券への投資を行うことがあります。
- ④ 外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。ただし、保有外貨建資産の売買代金、配当金等の受取または支払いにかかる為替予約等については為替ヘッジを行う場合があります。

○マザーファンドの主な投資制限については、請求目論見書または約款に記載しております。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

## 2. 投資リスク

当ファンドの基準価額は、ファンドに組入れられる有価証券の値動きのほか、為替変動等による影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

### 基準価額の変動要因

※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

#### 株価変動リスク

当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となります。

#### 為替リスク

当ファンドは外貨建資産の実質組入比率を高位に維持し、また、為替リスクに対して為替ヘッジを行わないことを原則としているため、為替相場が円高になった場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となります。また外貨建資産への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因による影響を受けて損失を被る可能性もあります。

#### 信用リスク

実質的に投資する株式や短期金融商品等の発行者が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となります。

#### 流動性リスク

流動性リスクとは、株式市場における売買量の欠如等の理由により、当ファンドにとって最適な時期で株式の売買ができず機会損失を被るリスクをいいます。当ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。

#### カントリーリスク

実質的な投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等によって市場に混乱が生じた場合、もしくは取引に対する規制が変更となる場合または新たな規制が設けられた場合には、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額は予想外に下落する場合があります。

### 分配金に関する留意点

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことです。受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等があった場合、資金変動が起こり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額に影響をおよぼす場合があります。

### リスクの管理体制

委託会社では、運用パフォーマンス評価を運用部門から独立したリスク管理グループが月次で対象ファンドについて分析を行い、結果を「経営会議」に報告します。また、「経営会議」において運用パフォーマンス評価方法の協議も行い、適宜見直しを行います。

運用リスク管理は、リスク管理グループがリスクを把握、管理し、運用部門への是正指示を行うなど、適切な管理を行います。また運用リスク管理の結果については月次で「リスク管理委員会」に報告致します。

## 基準価額・純資産の推移

《設定日(2003年10月31日)~2011年11月30日》



※基準価額(分配金再投資)は、設定当初の投資元本10,000円に設定来の税引前分配金を再投資したものと計算しておりますので、実際の基準価額とは異なります。

(設定日：2003年10月31日)

※基準価額は信託報酬控除後です。

## 分配の推移(税引前)

第4期	(2007.10.30)	3,500 円
第5期	(2008.10.30)	0 円
第6期	(2009.10.30)	2,000 円
第7期	(2010.11.01)	0 円
第8期	(2011.10.31)	0 円
設定来累計		8,000 円

(注)分配金は1万口当たりです。

## 主要な資産の状況

(注)投資比率(%)は、純資産総額に対する当該資産の時価比率です。

### 組入銘柄一覧

順位	銘柄名	投資比率(%)
1	DIAM中国関連株オープン・マザーファンド	99.98

■DIAM中国関連株オープン・マザーファンド (注)投資比率(%)は、当該マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率です。

### ポートフォリオの状況

資産の種類	国名	投資比率(%)
株式	中国	46.78
	香港	33.71
	ケイマン諸島	9.83
	小計	90.32
投資証券	香港	1.52
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		8.16
合計(純資産総額)		100.00

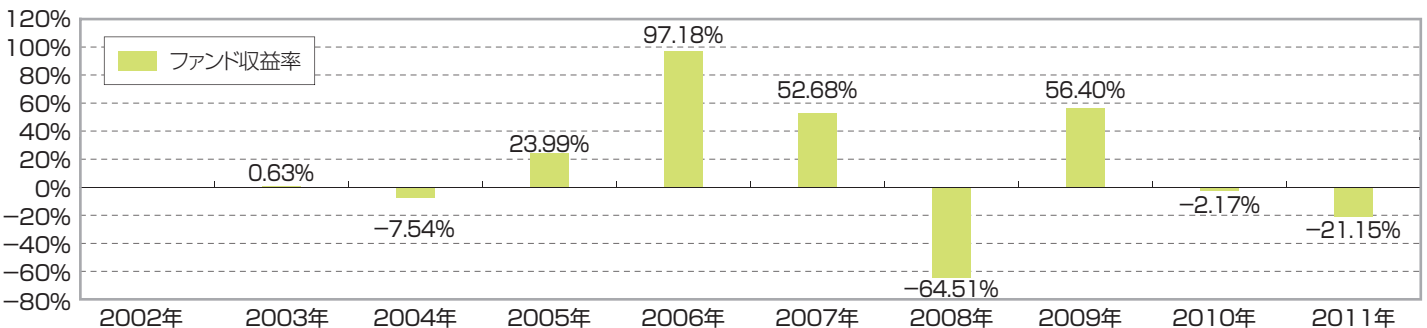
### 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国名	業種	投資比率(%)
1	CHINA MOBILE LIMITED	香港	無線通信サービス	11.79
2	IND & COMM BK OF CHINA - H	中国	商業銀行	9.54
3	PETRO CHINA CO LTD	中国	石油・ガス・消耗燃料	6.75
4	CHINA CONSTRUCTION BANK	中国	商業銀行	6.17
5	CNOOC LTD	香港	石油・ガス・消耗燃料	4.83
6	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	インターネットソフトウェアサービス	4.05
7	CHINA SHENHUA ENERGY CO LTD	中国	石油・ガス・消耗燃料	4.02
8	AGRICULTURAL BANK OF CHINA	中国	商業銀行	4.00
9	CHINA TELECOM CORP LTD	香港	各種電気通信サービス	3.80
10	CHINA LIFE INSURANCE CO LTD	中国	保険	2.64

### 組入上位5業種(株式)

順位	業種	投資比率(%)
1	商業銀行	21.19
2	石油・ガス・消耗燃料	17.24
3	無線通信サービス	11.79
4	保険	7.27
5	食品	6.00

## 年間収益率の推移



※当ファンドの収益率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しております。

※当ファンドの収益率は、暦年ベースで表示しています。但し、2003年は設定日から年末までの収益率、および2011年については年初から基準日までの収益率を表示しています。

※当ファンドにはベンチマークはありません。

○掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

○委託会社ホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

## 4. 手続・手数料等

### お申込みメモ

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本：1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入の申込期間	2012年2月1日～2013年1月30日 ※香港証券取引所の休業日(以下「海外休業日」といいます。)には、お申込みの受付を行いません。 ※上記期間終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。 海外休業日には、換金のお申込みの受付を行いません。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2013年10月30日までです。(設定日：2003年10月31日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 ①受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。 ②受益者のために有利であると認めるとき。 ③やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎年10月30日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 ※「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 ※「分配金再投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
信託金の限度額	1,000億円とします。
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年10月のファンドの決算時および償還時に運用報告書を作成し、あらかじめ届出を受けた住所に販売会社よりお届けいたします。 ※委託会社のホームページにおいても開示しております。(URL <a href="http://www.diam.co.jp/">http://www.diam.co.jp/</a> )
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
基準価額の照会方法	基準価額は、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせいただくか、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊の「オープン基準価格」の欄をご参照ください。(委託会社の略称：DIAM、当ファンドの略称：中国関連)

### ファンドの費用・税金

#### ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用				
購入時手数料	購入価額に、 <b>3.15%(税抜3.0%)を上限として</b> 各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額をご購入時にご負担いただきます。 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。			
信託財産留保額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。			
投資者が信託財産で間接的に負担する費用				
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年1.68%(税抜1.60%)</b> の率を乗じて得た額とします。また、運用管理費用(信託報酬)の配分は下記の通りとします。ファンドの運用管理費用(信託報酬)は、日々の基準価額に反映され、毎年4月30日(休業日の場合は翌営業日)および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。			
	時期	項目	費用	
	毎日	信託報酬	総額	信託財産の純資産総額に対して年率 <b>1.68%(税抜1.60%)</b>
			配分	委託会社
販売会社				年率 <b>0.7875%(税抜0.75%)</b>
		受託会社	年率 <b>0.105%(税抜0.10%)</b>	
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。			

※当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することができません。

#### 税金

時期	項目	税金	
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税	普通分配金に対して <b>10%</b>
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税	換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して <b>10%</b>

※税金は表に記載の時期に適用されます。

※上記の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

※上記は、2011年11月末現在のものです。2013年1月1日から2013年12月31日までは**10.147%**の税率となります。また、2014年1月1日以降は**20.315%**の税率となる予定です。なお、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

